

地理歴史科 世界史 B シラバス		4単位	普通科 第2学年 1・2・3・4 組	
年間の到達目標	1 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解します。 2 文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察します。 3 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。			
教科書・副教材等	『新訂版 世界史 B』実教出版 ダイアログ世界史図表(第一学習社)			
学期	月	学習内容	学習のねらい	学習の方法
1	4	序章 - 文明社会へのみちすじ 第1章 - 西アジアと地中海世界 1. オリエント文明の形成 ~ 3. ローマ帝国と地中海世界	「世界史B」の学習の意義や内容、評価方法などを理解します。 世界の形勢の土台となる古代文明の成立を扱い、各々の風土のもとに人々のつくり上げていった生活・風習などの文化を理解します。 世界の各地域の人々が、独自の文化を育て上げ、発展する様子を知ることを通し、次に訪れる交流の時代が必然的な流れであったことを理解します。 仏教、イスラーム教、キリスト教などの成立を通じて、信仰と結びついた社会の特性や支配権力を中心とした国家の形成や発展について理解します。	講義 ビデオ教材視聴 プリント作業
	5	第2章 - 南アジア・東南アジアの形成 1. 古代インド文明の形成 ~ 2. ヒンドゥー国家と社会の形成 第3章 - 東アジア・内陸アジアの形成 1. 中華文明の形成 ~ 2. 隋唐帝国と東アジア諸民族の活動		
	6	第5章 - イスラーム世界の形成と拡大 1. イスラーム国家の成立 ~ 4. イスラーム文化 第6章 - 内陸アジア・東アジア世界の展開 1. 内陸アジアの動き ~ 3. ユーラシア交流圏の成立		
	7	第7章 - ヨーロッパ世界の形成と展開 1. 西ヨーロッパ世界の成立 ~ 5. 王権の伸張		
〔課題・提出物等〕 授業プリント(中間考査終了後、期末考査終了後)、自習課題(随時)				
〔第1学期の評価方法〕 学期全体の評価は、中間と期末の考査成績で80%、提出物(授業プリント、自習課題)や参加態度で20%の配分で行います。				
2	9	第8章 - 近代ヨーロッパの形成 1. ルネサンス ~ 6. イギリスの覇権と資本主義的世界体制	東西交流の時代を概観し、イスラーム世界が人類の発展にどのような役割を果たしたかを理解します。 ヨーロッパ社会が、イスラームとの交流を通じて世界の情勢を知り、新たな社会文化をつくり上げて海外に進出した様子を理解します。 アメリカ・フランス二つの革命を通じて人々が自らの手で社会をつくり上げて行く自覚が芽生えてきたことを理解します。 植民地支配を基盤とする帝国主義の膨張と、民族主義の抵抗と開放の過程を理解します。	講義 ビデオ教材視聴 プリント作業
	10	第10章 - 大西洋革命の展開 1. アメリカ国立革命 ~ 3. 産業革命と資本主義的世界体制 第11章 - 19世紀のヨーロッパ・アメリカ世界 1. ウィーン体制 ~ 3. 19世紀の南北アメリカ		
	11	第12章 - 19世紀のアジア・アフリカ 1. ヨーロッパ諸国のアジア進出 ~ 4. アジアの変動		
	12	第13章 - 帝国主義の時代 1. ヨーロッパと南北アメリカ ~ 4. 帝国主義時代の国際対立		
〔課題・提出物等〕 授業プリント(中間考査終了後、期末考査終了後)、自習課題(随時)				
〔第2学期の評価方法〕 学期全体の評価は、中間と期末の考査成績で80%、提出物(授業プリント、自習課題)や参加態度で20%の配分で行います。				
3	1	第14章 - 第一次世界大戦 1. 第一次世界大戦とロシア革命 ~ 3. 民族運動の新展開	世界経済の拡大に伴う国家間の利害の対立としての戦争を概観し、戦後の秩序構築に各国がどのように努力を重ねてきたかを理解するとともに、世界と日本の将来について考察します。 世界経済の拡大に伴う国家間の利害の対立としての戦争を概観し、戦後の秩序構築に各国がどのように努力を重ねてきたかを理解するとともに、世界と日本の将来について考察します。	講義 ビデオ教材視聴 プリント作業
	2	第15章 - ファシズムと第二次世界大戦 1. 世界恐慌とファシズム ~ 3. 第二次世界大戦		
	3	第16章 - 冷戦の時代 第17章 - 冷戦の終結 1. 戦後の変革と冷戦の展開 ~ 5. ゆれる西アジア・アフリカ		
〔課題・提出物等〕 授業プリント(中間考査終了後、期末考査終了後)、自習課題(随時)				
〔第3学期の評価方法〕 学期全体の評価は、中間と期末の考査成績で80%、提出物(授業プリント、自習課題)や参加態度で20%の配分で行います。				
確かな学力を身につけるためのアドバイス	年号、地域、人物、史実等の事柄について、多くのことを覚えることも重要ですが、問題について原因や対策を考察する姿勢が大切です。 プリントや副教材の作業では、自ら歴史年表や歴史地図を読み、資料を分析して活用できるようにしておくことが効果的な学習につながります。			
授業を受けるにあたって守って欲しい事項	作業学習には几帳面に取り組むとともに自分で工夫を凝らしてプリントや副教材を完成してください。また、それらの課題については、必ず期限を守って提出して下さい。			
評価の観点	内 容			評 価 方 法
関心・意欲態度	歴史に対する関心や、世界史学習への意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいたか。			学習活動への参加の仕方や態度
思考・判断	取り上げた史実や適切な事例からその変遷や意義を追求できたか。世界史と日本の歴史との密接なつながりに気づくことができたか。			定期考査 授業プリント
資料活用の技能・表現	ビデオ教材や歴史地図を活用し、自然、文化などの条件との関連を把握できたか。学習の中で追及し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけることができたか。			定期考査 授業プリント
知識・理解	政治、経済、社会、生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけることができたか。			定期考査
〔担当者からのメッセージ〕 講義、ビデオ教材視聴、作業学習、レポート作成など、様々な学習形態の授業を行います。これらの学習を組み合わせ、また、積み重ねていくことで、歴史的なものの見方や考え方を育成していきます。 世界の事実に関する知識を深めるとともに、平和な国際社会を実現させる課題や諸問題の解決について主体的に考え、努力していく姿勢を培っていきましょう。				

